



## 「いづれもの目の話」



国保成東病院眼科  
視能訓練士  
石渡 千賀子  
いしわた ちかこ

わたしたちは普段、両目  
物を立体的に見ています。片  
目だけで見ると遠近感が悪く  
なりますね。この働きは、2  
歳までに両目が同時に物を見  
る機会がないと、発達が難し  
いと言われています。

また、両目を同時に上手に  
使えないという事は、弱視や  
斜視の原因にもつながります。  
今回は弱視と斜視についてお  
話したいと思います。

## 弱視

まず、弱視についてです。  
弱視の目はメガネをかけて  
も視力が上がらず、ピンボケ  
の状態で見えています。両

眼の弱視では、テレビや絵本  
を近づいて見たり、目を細め  
たりします。片眼の弱視では、  
良い方の目を隠すととても嫌  
がりませんが、日常は良い方の  
目で見ているので、弱視を発  
見しにくく注意が必要です。

一般的に視力の発達期間は  
小学校低学年くらいまでと言  
われています。この期間にし  
っかりとメガネをかけて、「矯  
正視力」で1.0を出すことが弱  
視治療の目的です。弱視のお  
子さんはメガネを使っても、  
年齢相応の視力がありません。  
治療は適切なメガネをかける  
事から始まります。メガネは  
薬のようなものです。

## 斜視

次に、斜視についてです。  
目つきがおかしい、視線が  
合わない時は斜視が疑われま  
す。斜視とは、両目の視線が  
同じ方向を向かない状態をい  
い、片方の目は目標物を見て、  
もう一方の目は「違う方向」  
を見ている状態です。「違う  
方向」には内向き、外向き、  
上向き、下向きがあり、それ  
ぞれ外斜視、内斜視、上斜視、  
下斜視と言います。

斜視のお子さんは、片目つ  
ぶりをすることがあります。  
斜視になると物が二重に見え  
るため、片目をつぶって二重  
に見えるのを避けるためと言  
われています。また、ずれて  
いる方の見え方を無視して、  
一つにすることを覚えてしま  
います。この時は両目で見て  
いても、頭の中では片目だけ  
の機能しか使っていません。  
治療は定期的に検査し、必  
要があればメガネをかけて目  
の位置を矯正します。目の位  
置がずれている時は、両目を  
同時に使っておらず、ずれが  
大きい時には手術が必要な場

合もあります。斜視も目の正  
常な発達を妨げる原因の1つ  
とされ、弱視と同様、早期発  
見・治療が大切です。

以上のことから、その他の  
目の病気も含めて、1歳6か  
月や3歳児健診は重要となり  
ます。そして、弱視と斜視の  
どちらも、治療経過には個人  
差があります。場合によって  
は通院が長期にわたることも  
あり、ご家族や幼稚園、保育  
園、学校の先生などまわりの  
大人たちの支えや励ましが治  
療には不可欠です。

わたしがお子さんたちの検  
査をして感じるのは、ご家族  
の「前からちよつと気になっ  
ていた事」が早期発見につな  
がる点です。

- ①目の大きさ、形がおかしい
  - ②目が揺れる
  - ③瞳が白く見える
  - ④視線が合わない
  - ⑤まぶしがる
  - ⑥目をこする
  - ⑦いつも目やにや涙が出る
- などの心当たりがある場合は、  
早めの眼科受診をお勧めしま  
す。

### 国保成東病院からの お知らせ

9月1日(火)から  
婦人科・産科(分娩)

の休止

広報さんむ7月号で、  
産科(分娩)の一時休止の  
お知らせをしましたが、  
婦人科についても診療の  
継続が困難となり、一時  
休止させていただきま  
す。地域の皆さんには、大  
変ご迷惑をおかけしま  
すとともに、ご理解くだ  
さいますようお願いいた  
します。

### 問

国保成東病院  
地域医療連携室

☎(82)2521